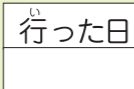


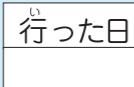
### あほじんじや 阿保神社

おまつりしているのは天照皇大神です。『播州神社考』という本には、おまつりしている神さまとして「天照皇大神、品陀別命、天兒屋根命、伍堂社」と書かれています。つくられた年代やいわれは分かっていません。明治7年(1874)2月には村の神社となりました。昭和47年(1972)に建て直されました。



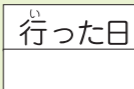
### うがじんじや 宇賀神社

おまつりしているのは宇賀ノ魂神です。宇賀神社という名前は、昭和4年(1929)の大修理のときに鳥居の額に書かれたもので、登記上は稲荷神社となっています。『村翁夜話集』という本には「稲荷社、中阿保村氏神、村中持」と書かれています。阿保(英保)という名前は、『播磨国風土記』にも書かれていて、昔から発展してきた地域です。



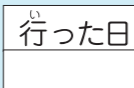
### かすがじんじや とよさわちやう 春日神社(豊沢町)

『播磨鑑』という本には、八木春日ともい、神功皇后が麻生山にいらっしゃる時、大己貴命に命令して八木杉を生えさせたと書かれています。寛和2年(986)、巨智延昌がお願いしておまつりしたと伝わっています。『播州名所巡覧図絵』には「春日明神」という名前で紹介されています。



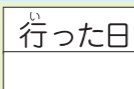
### こもせうづか ひとみ ごくうしんじ 虚無僧塚と人身御供神事

田畑を荒らしていたハツ目イタチを虚無僧(お坊さん)が退治したことにちなみ、「オトウ」というくじによって選ばれた人がお供えを持って、神さまにおまいりする人身御供神事が明治時代の終わりまでのこ残っていました。参道の入り口には、その由来が彫られている「虚無僧塚」という石碑があります。



### さんざえもんぼり げんそとぼりがわ 三左衛門堀(現外堀川)

慶長年間(1596~1615)に、池田三左衛門輝政が姫路城の外堀と飾磨の港をむすぶ運河として掘り進めたものです。完成しませんでした。輝政の名前にちなんで「三左衛門堀」といわれています。



## じょうようちく 城陽地区

### 19 城陽地区

山陽本線 (JR神戸線)  
東姫路駅

山陽新幹線

かすがじんじや とよさわちやう  
春日神社(豊沢町)

さんざえもんぼり げんそとぼりがわ  
三左衛門堀(現外堀川)  
城陽小学校

やくしどう  
薬師堂

こもせうづか ひとみ ごくうしんじ  
虚無僧塚と人身御供神事

ほうじょうてんまんじんじや  
北条天満神社

あほじんじや  
阿保神社

しょうだてんまんじんじや  
庄田天満神社

なんじょうおおとしじんじや  
南条大年神社

さんざえもんぼり ひとみごくうしんじ とのいけだ  
三左衛門堀は、姫路城の殿さま池田輝政が手がけたものです。輝政はその他にどんなことをしたのでしょうか。調べてみましょう。

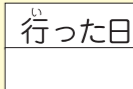
- 遺跡・史跡 歴史上の名所
- 神社・仏閣 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能 など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

しらべたこと、わかったことを書いてみよう!



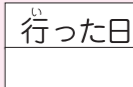
### しょうだてんまんじんじや 庄田天満神社

おまつりしているのは菅原道真です。本殿は一間社流造です。『村翁夜話集』という本に神社の名前が書かれています。明治7年(1874)に、村の神社として認められました。毎年10月の第2土・日曜日には、秋季例祭が行われます。



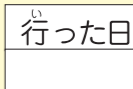
### なんじょうおおとしじんじや 南条大年神社

おまつりしているのは穀物を守る大年神です。本殿は、一間社流造です。『村翁夜話集』という本に「妙見大明神社 神霊八大白星」と書かれています。明治時代の初め、「大年神社」と名前が変わりました。



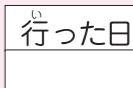
### はみやじぞう 刃の宮地蔵

『播磨鑑』という本には、刀匠三条小鍛冶宗近が宇佐八幡宮に向かう途中、夢の中で「剣を松原神宮に納めるように」というお告げを聞いて、神狐孫太郎といっしょに小さな剣をつくって松原神宮におさめたと書かれています。宗近がこの場所で亡くなったのでお地蔵さまをおいてまつたといわれています。



### ほうじょうてんまんじんじや 北条天満神社

おまつりしているのは菅原道真です。いわれなどは分かっていませんが、池田輝政から五石を寄付されたという書面や、応仁2年(1468)に北条村が廣峯神社の領地として寄付されたことから、神社は古くに建てられたものだと思います。参道にある鳥居は寛文4年(1664)にできたものです。



### やくしどう 薬師堂

地元では「乳貰い薬師」ともよばれて、ご利益があるお寺として、信仰を集めていました。昭和20年(1945)の戦災のため、焼けてなくなりましたが、昭和44年(1969)に建て直されました。お堂の前には「豊公馬繁松跡」の石碑が建てられています。

